

**ZENRIN**

証券コード：9474

# 2016年3月期 第2四半期決算説明会

2015年11月12日

**株式会社ゼンリン**  
Maps to the Future

代表取締役社長

高山 善司

代表取締役副社長

網田 純也

執行役員コーポレート本部長

松尾 正実

## 1. 2016年3月期 第2四半期決算概要

## 2. 2016年3月期 通期業績予想

## 3. 事業概況

## Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競争状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合や、比較対象の一方若しくは両方がマイナスの場合は「-」表記しております。

# 1. 2016年3月期 第2四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因（前年同期比）
- 4) セグメント情報
- 5) キャッシュ・フロー推移

## Appendix① 2016年3月期 第2四半期決算概要

- ・ 設備投資額、減価償却費、研究開発費
- ・ 四半期売上高構成比 推移

# 1-1) 決算概要

## 2016年3月期 第2四半期決算のポイント

### 前年同期比<増収増益> \*営業利益

- 住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上は堅調に推移
- 前第3四半期連結会計期間より新たに連結の範囲に含めた子会社の売上が加わり増収

### 業績予想比<コスト低減などにより上方修正>

- コスト低減に努めたことに加え、一部の新規開発案件に係る先行費用等が下期発生となり、Q2業績予想を上方修正

金額単位:百万円

	2015年3月期 実績	2016年3月期 業績予想 (5/8)	2016年3月期 修正予想 (10/23)	2016年3月期 実績	前年同期比		業績予想比 (5/8)		修正予想比 (10/23)	
						増減率 (%)		増減率 (%)		増減率 (%)
売上高	22,556	24,700	24,730	24,734	2,177	9.7	34	0.1	4	0.0
営業費用	22,865	25,000	24,560	24,557	1,691	7.4	△442	△1.8	△2	△0.0
営業利益	△308	△300	170	176	485	—	476	—	6	4.1
営業利益率	△1.4%	△1.2%	0.7%	0.7%	2.1pt	—	1.9pt	—	0.0pt	—
経常利益	△18	△100	420	422	441	—	522	—	2	0.7
親会社株主に帰属 する四半期純利益	194	△300	110	119	△74	△38.3	419	—	9	9.1

※10/23公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

# 1-2) 売上高・利益の推移

## 売上高

## 営業利益

## 経常利益

## 親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比

2,177増加 (+9.7%)

485改善 (—)

441改善 (—)

74悪化 (△38.3%)

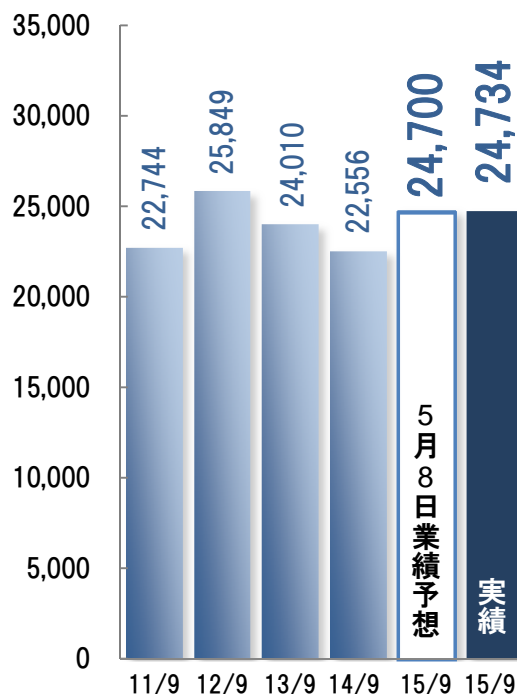
業績予想比  
(5/8公表)

34増加 (+0.1%)

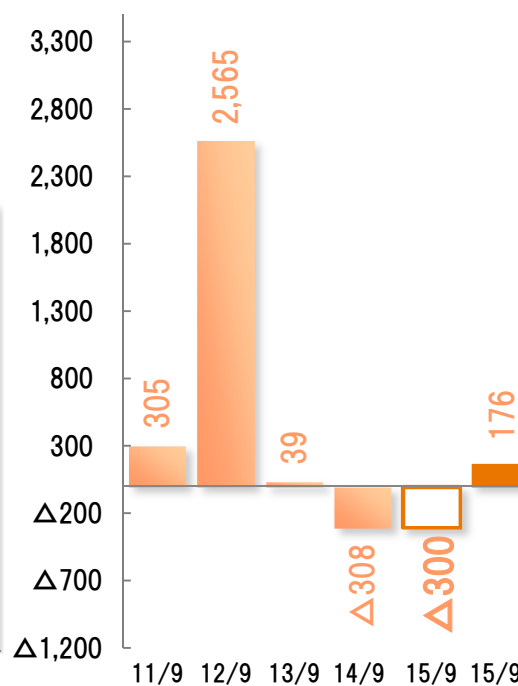
476改善 (—)

522改善 (—)

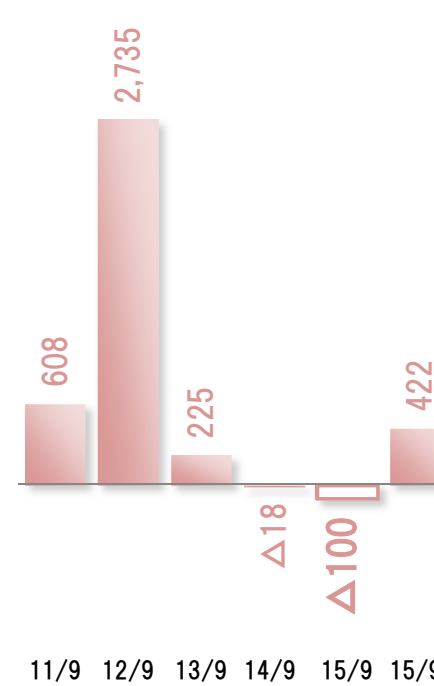
419改善 (—)



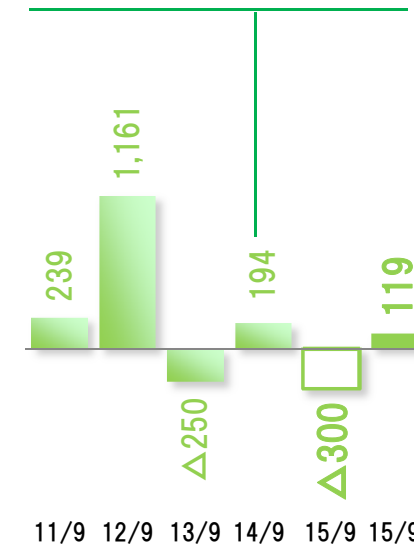
3期ぶりの増収



前期損失→利益



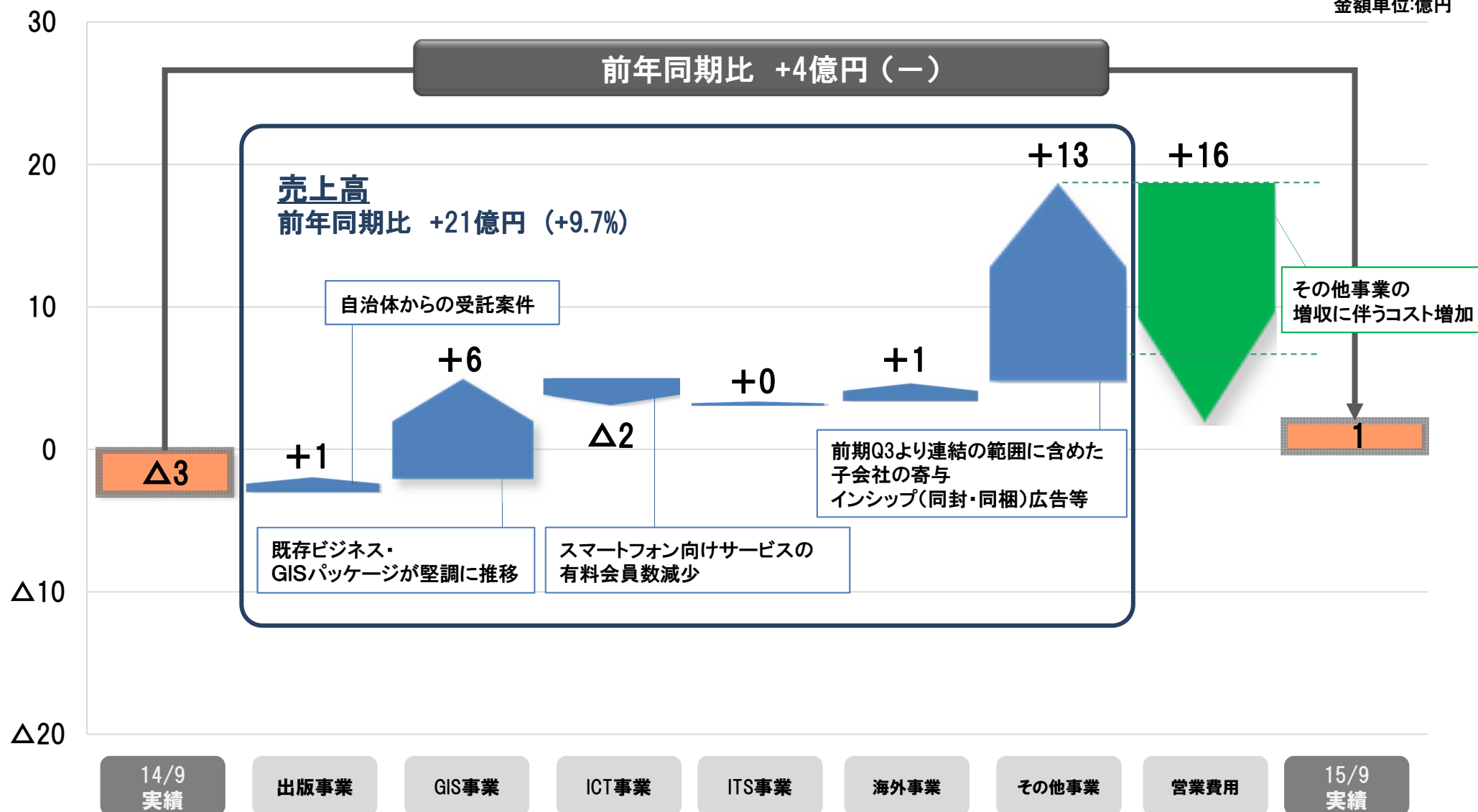
事業再編に伴う  
繰延税金資産の影響などで、  
法人税等調整額を計上



2期ぶりの減益

※10/23公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

# 1-3) 営業利益増減要因 (前年同期比)



# 1-4) セグメント情報

売上構成  
比率

82.9%

## 1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース  
国内外カーナビ用地図データ  
スマートフォン向けサービス  
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



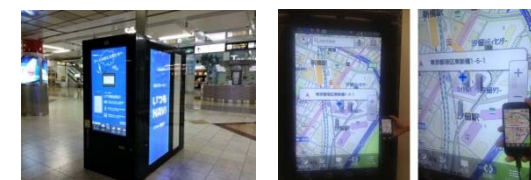
## 2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



## 3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ  
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告

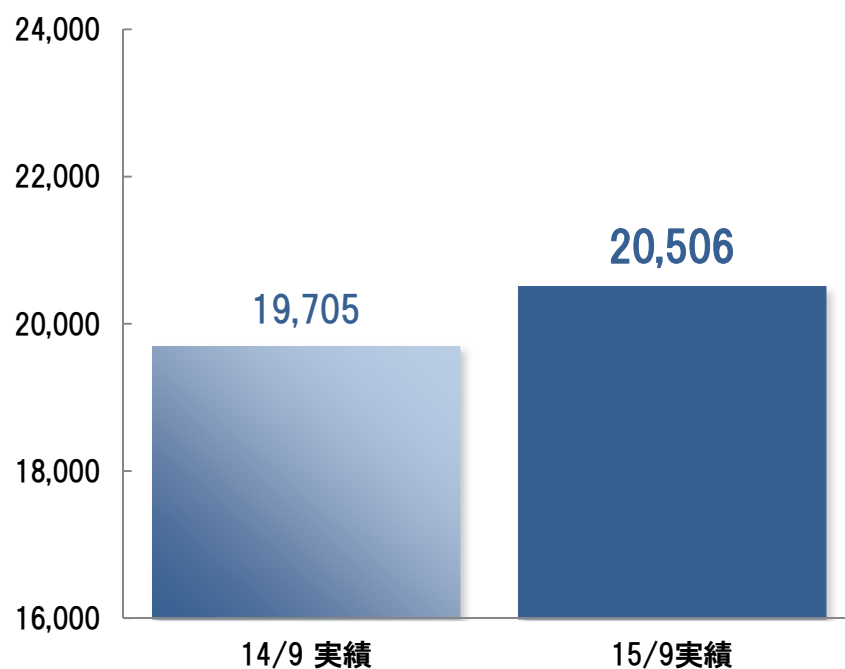


# 1-4) 地図データベース関連事業

## 売上高

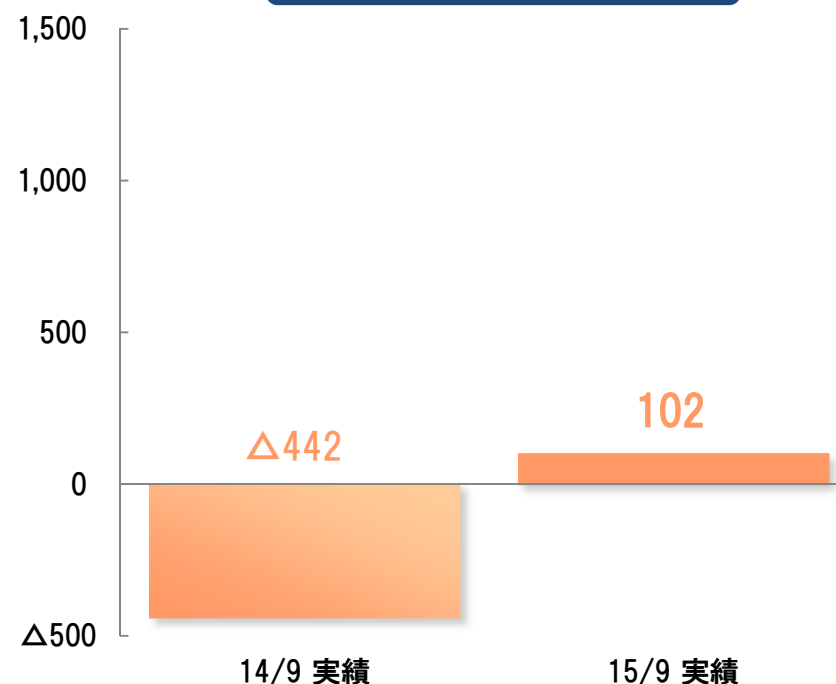
前年同期比

800増加 (+4.1%)



## 営業利益

545改善 (-)



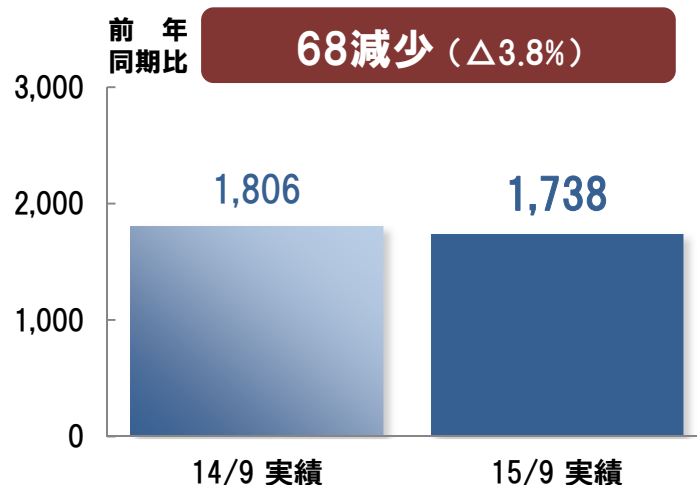
- 住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上が堅調に推移、自治体からの受託案件獲得
- ICT関連のスマートフォン向けサービスの有料会員数が減少



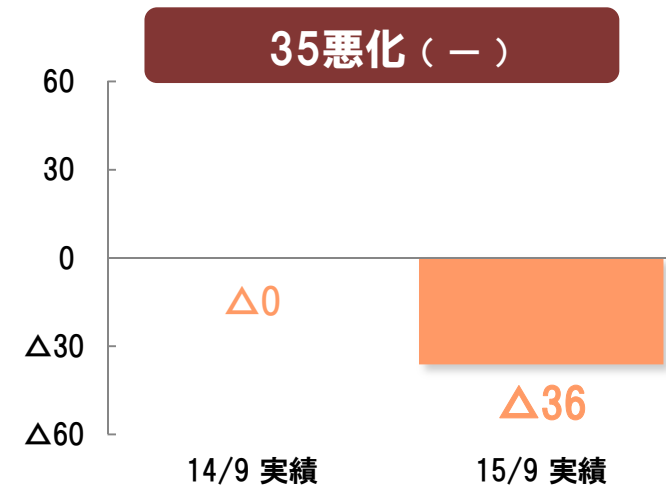
# 1-4) 一般印刷関連事業・その他

一般印刷関連事業

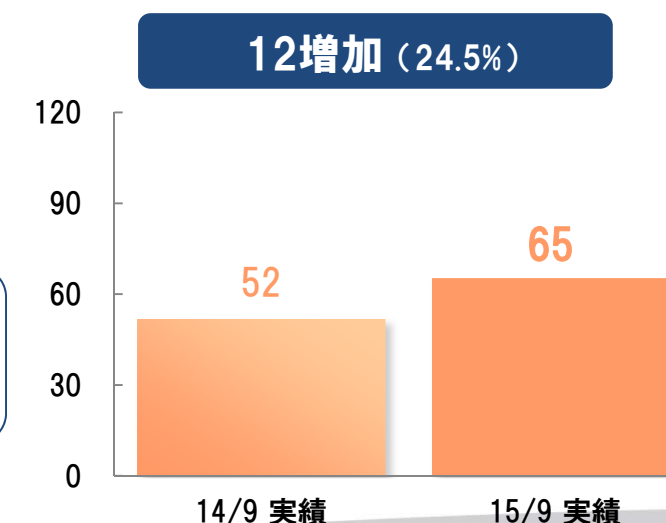
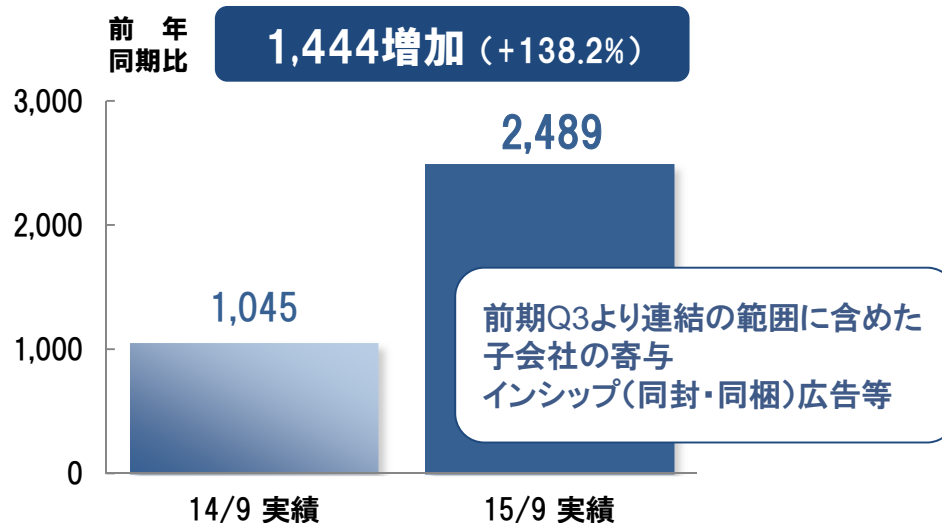
## 売上高



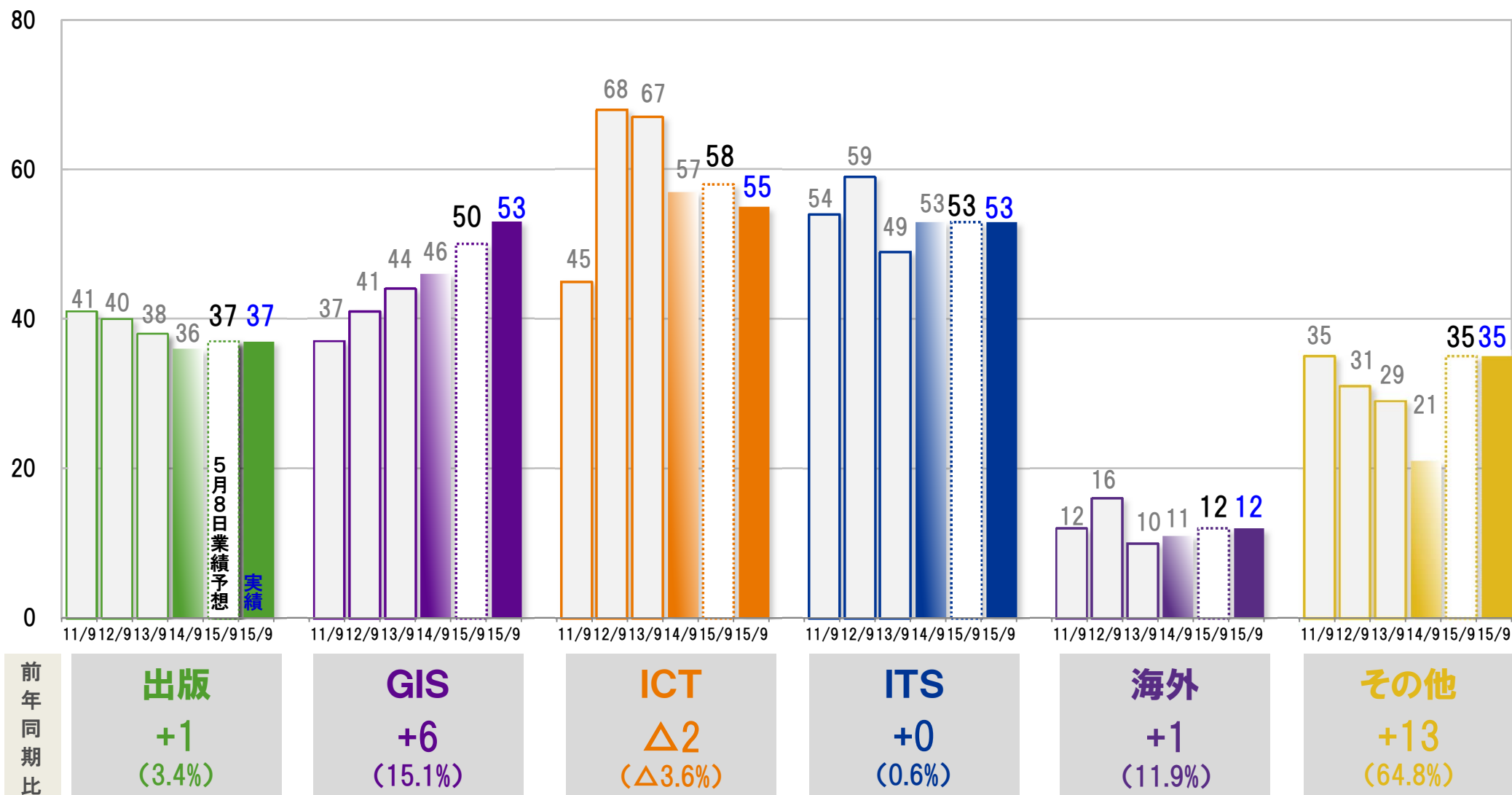
## 営業利益



その他



# 1-4) 中長期経営計画 (ZGP2020) で区分した事業別売上高



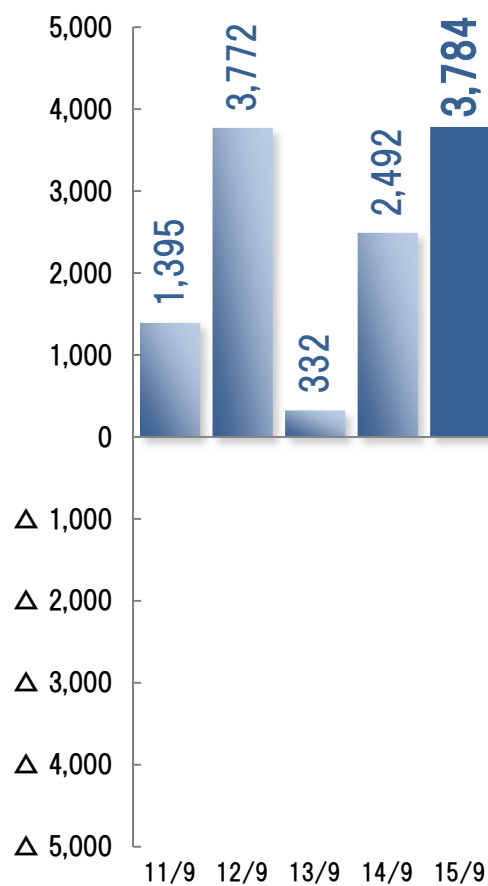
※2011年9月期～2013年9月期(白抜き棒グラフ)はZGP2015の事業区分で集計した売上高

# 1-5) キャッシュ・フロー推移

## 営業CF

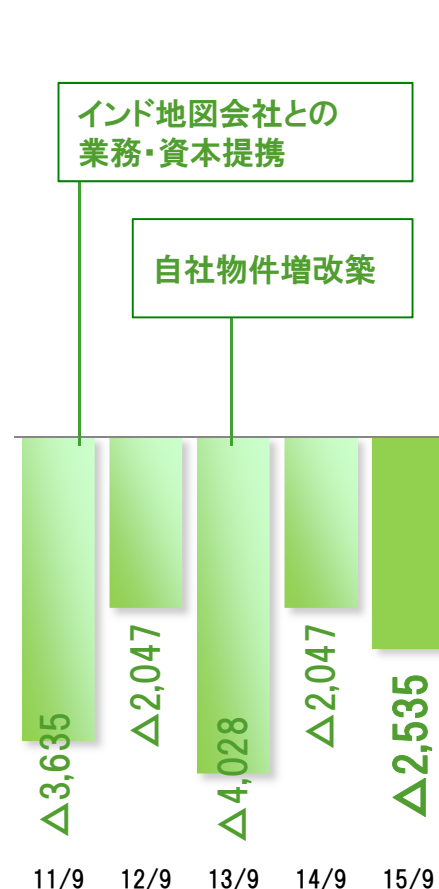
前年同期比

1,292収入増加



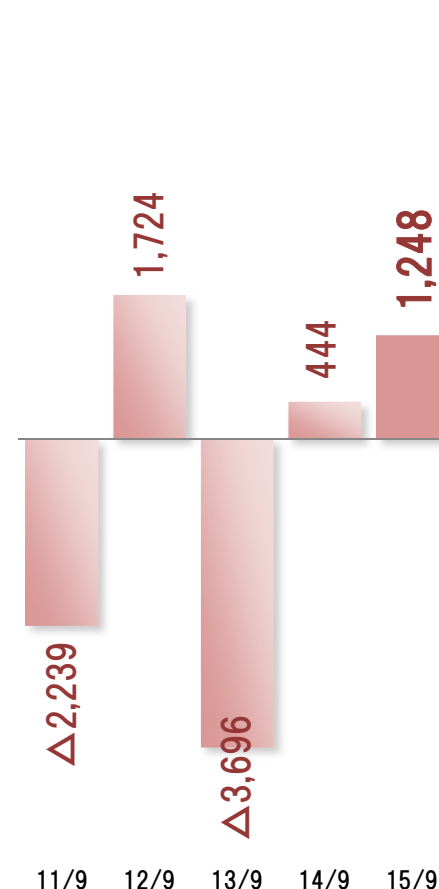
## 投資CF

488支出増加



## フリーCF

803収入増加



## 財務CF

712支出増加



フリーCF	1,248
財務CF	Δ3,172
換算差額	14
現預金減少	Δ1,908
期首現預金	6,393
期末現預金	4,484

## 2. 2016年3月期 通期業績予想

### 1) 通期業績予想の概要

(5月8日公表値から変更なし)

### 2) 配当金

#### Appendix② 2016年3月期 通期業績予想

- ・売上高・利益の推移
- ・営業利益増減要因（前期比）
- ・セグメント情報
- ・設備投資額、減価償却費、研究開発費

## 2-1) 通期業績予想の概要

### 2016年3月期 通期業績予想について

現段階においては事業環境に不確定な要素が多いことから、2015年5月8日に公表した通期業績予想を据え置く

#### 前期比<増収増益>

住宅地図データベースを活用したGIS関連、前第3四半期連結会計期間より加わった子会社の「その他事業」により増収生産性向上によるコスト低減を継続しながら、時空間データベース整備を推進する

金額単位:百万円

	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	52,286	55,500	3,213	6.1
営業費用	49,897	53,000	3,102	6.2
営業利益	2,389	2,500	110	4.6
営業利益率	4.6%	4.5%	△0.1pt	—
経常利益	2,751	2,800	48	1.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,464	1,500	35	2.4
ROE (自己資本当期純利益率)	3.9%	4.0%	+0.1pt	—

※通期業績予想は2015年5月8日の公表値から変更なし。

## 2-2) 配当金

基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施  
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2016年3月期配当金 (前期比)	
中間	15円50銭 (+50銭)
期末 (予定)	15円50銭 (-50銭)
年間 (予定)	31円00銭 (± 0円)



## 3. 事業概況

### 1) ZGP2020事業戦略

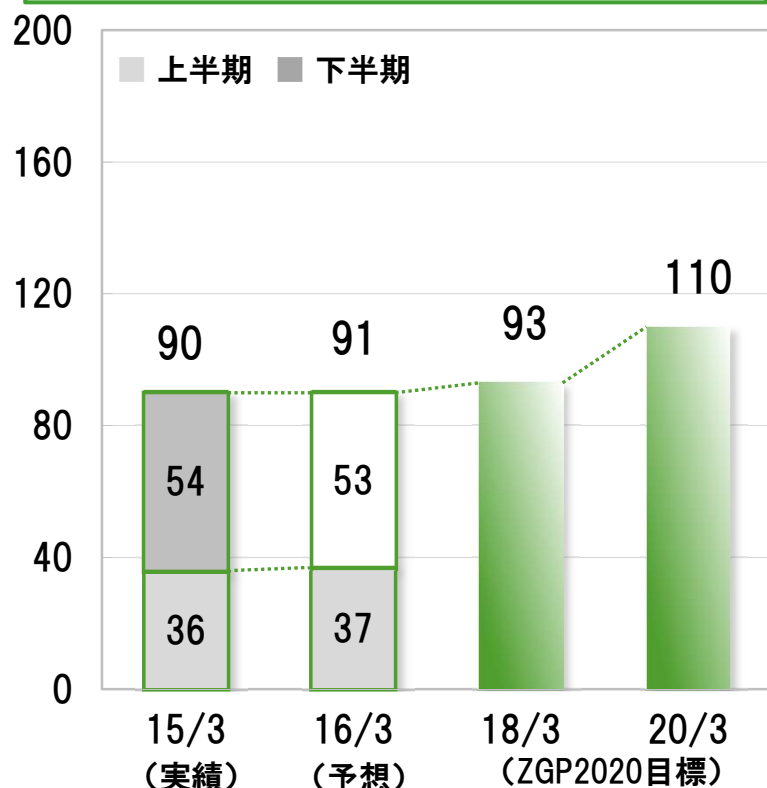
売上高（第2四半期進捗）、取り組み状況

### 2) ADAS（※）への取り組み

（※）先進運転支援システム：Advanced Driver Assistance Systems

2016年3月期 売上高予想  
前期比 +0億円(+1.0%)

＜第2四半期進捗＞  
住宅地図帳は減少傾向が続くも  
自治体からの受託案件により増収



広告事業を統合

上半期は実績

## プリントメディアの「コト」を追求

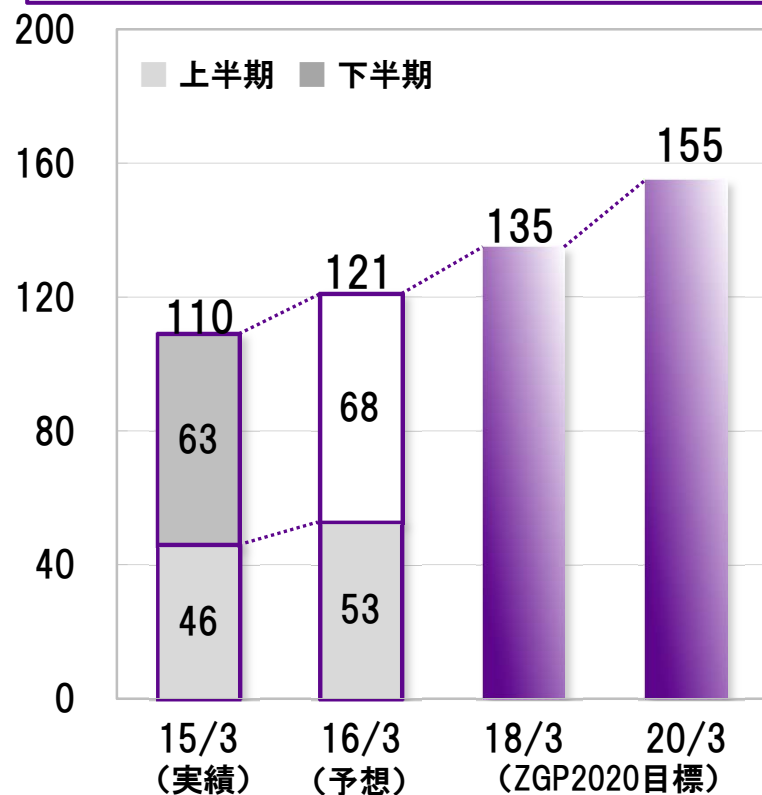
- ★ 単発的購入モデルから継続的利用モデルへ変革  
住宅地図帳の複数年契約サービスを2都市にて実施
- 手軽に利用できるオンデマンドサービスの拡充
- ★ 受託型商品から進化した企画型商品の拡充  
自治体へ空き家対策提案し、調査業務受託(GIS事業へ)
- ★ 地図を新たなコンセプトで捉えて市場創造  
金沢LOFTにて地図ステーションリーテスト販売実施





2016年3月期 売上高予想  
前期比 +11億円(+10.8%)

＜第2四半期進捗＞  
GISパッケージ(前期比+2億円)に加え  
既存の住宅地図データベース関連も堅調



一部サービスをICTへ移管

上半期は実績

## コンセプト商品の拡充

★ 用途開発された商品と新価格の投入でゼンリンGISブランドを構築

土地コンテンツ(空き地・空き家)提供開始  
空き家情報の受託調査から、ソリューション展開へ

★ 地図に主題を付与したコンセプトが明確なパッケージ商品の投入

- ・【既存】GISパッケージ不動産の機能追加
- ・【新規】今期2タイトルリリースに向けてFS/一部提供開始

GIS利用の裾野拡大に向けたエントリーモデルの投入

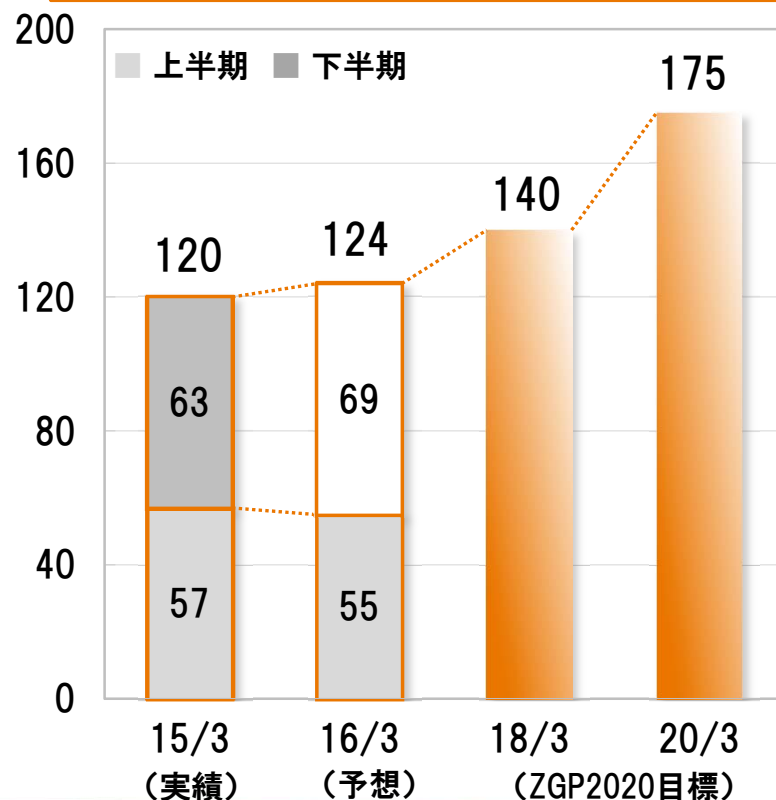
★ 自治体プラットフォームの確立

「災害時支援協定」143自治体と締結(2015/10末現在)

情報還流型ビジネスモデルの確立

2016年3月期 売上高予想  
前期比 +4億円(+3.5%)

＜第2四半期進捗＞  
アプリ開発の受託増、スマートフォン向けサービスの有料会員減少が減速も微減



サイネージをその他事業から  
拠点案内をGIS事業から移管  
上半期は実績

## ITメディアの「コト」を追求

★ 時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上  
既存提供先へのコンテンツ採用増、他社データ切替

Webビジネスにおける広告シェアモデルの立ち上げ

★ 時空間地図DBの提供によるデジタルサイネージ市場の獲得



・交通系事業者へサイネージと  
多言語サービス提案、採用へ



(東急電鉄) (JR九州)

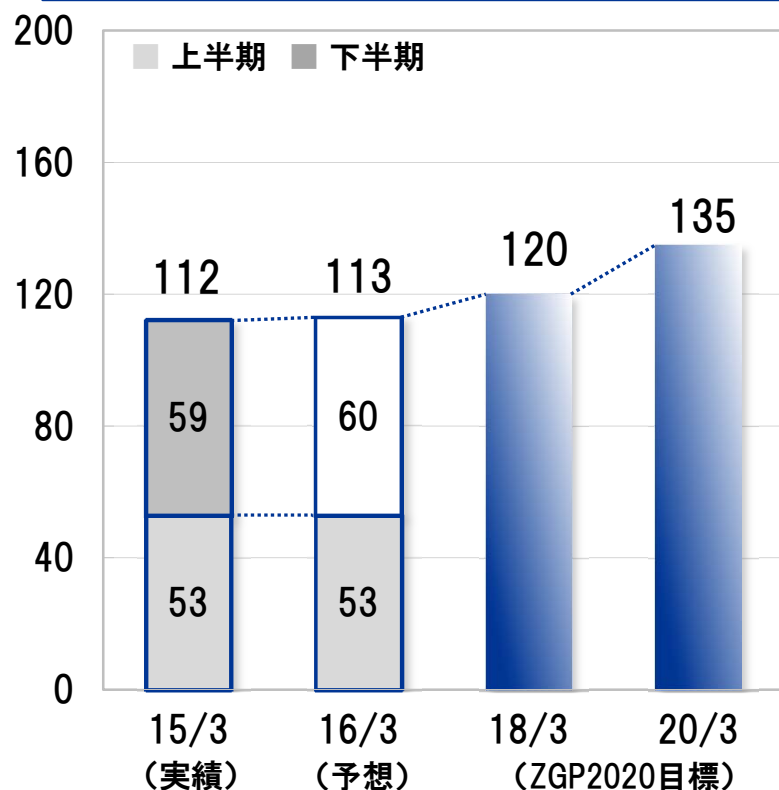


成長が見込まれる「観光分野」における位置情報ビジネスの拡大

3Dデータの活用領域拡大による3Dソリューションの立ち上げ

2016年3月期 売上高予想  
前期比 +1億円(+1.0%)

＜第2四半期進捗＞  
市販ナビ等は減少傾向続くも、エントリーモデル採用により売上維持



車載ナビアプリを  
ICT事業から移管

上半期は実績

## 「つながるナビ」と「高精度地図」

時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上

★ 地図DBとアプリケーションを組合わせたトータルサービスの提案  
カーメーカー、ナビメーカーの通信ナビ獲得

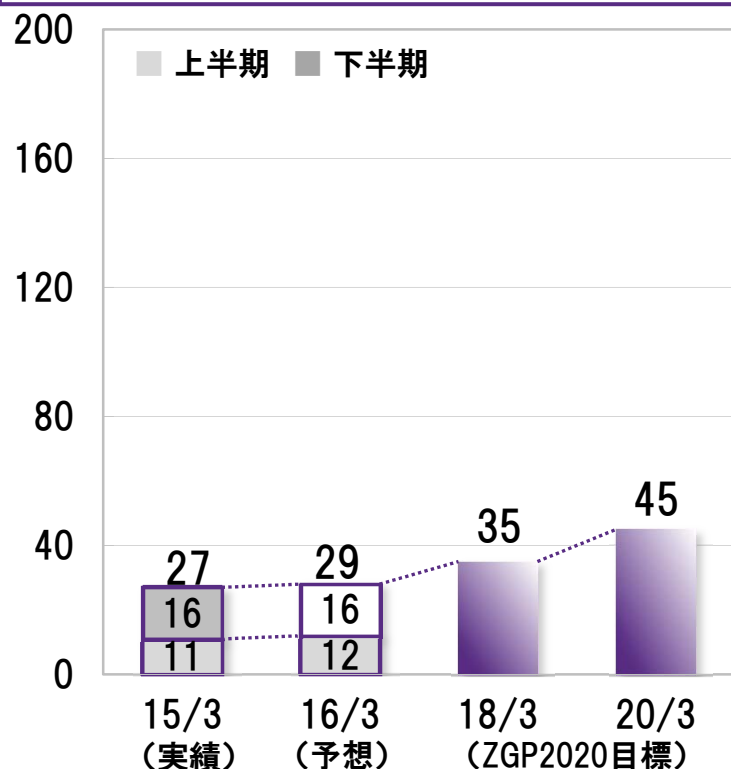
3D地図ライセンスとオーサリング案件で海外メーカー獲得

★ 高精度地図の技術確立と商品企画推進

- ・「第22回ITS世界会議ボルドー2015」にて自動走行向け地図ソリューション「ZGM Auto」紹介
- ・内閣府(SIP)「ダイナミックマップ」構築の試作・評価に係る調査検討の公募案件受託

2016年3月期 売上高予想  
前期比 +1億円(+7.0%)

＜第2四半期進捗＞  
既存取引先への欧米コンテンツ提供により売上維持



車載ナビアプリを  
ICT事業から移管

上半期は実績

## 新興国エリアのビジネス基盤構築



### インドビジネスの拡大

日系カーメーカー、ナビメーカー採用に向けて継続協議

### ASEANビジネスの立ち上げ

ナビアプリのグローバル展開とオーサリング案件の確保

海外高精度ビジネスの立ち上げに向けた事業可能性の検証開始

### 海外GISの立ち上げ

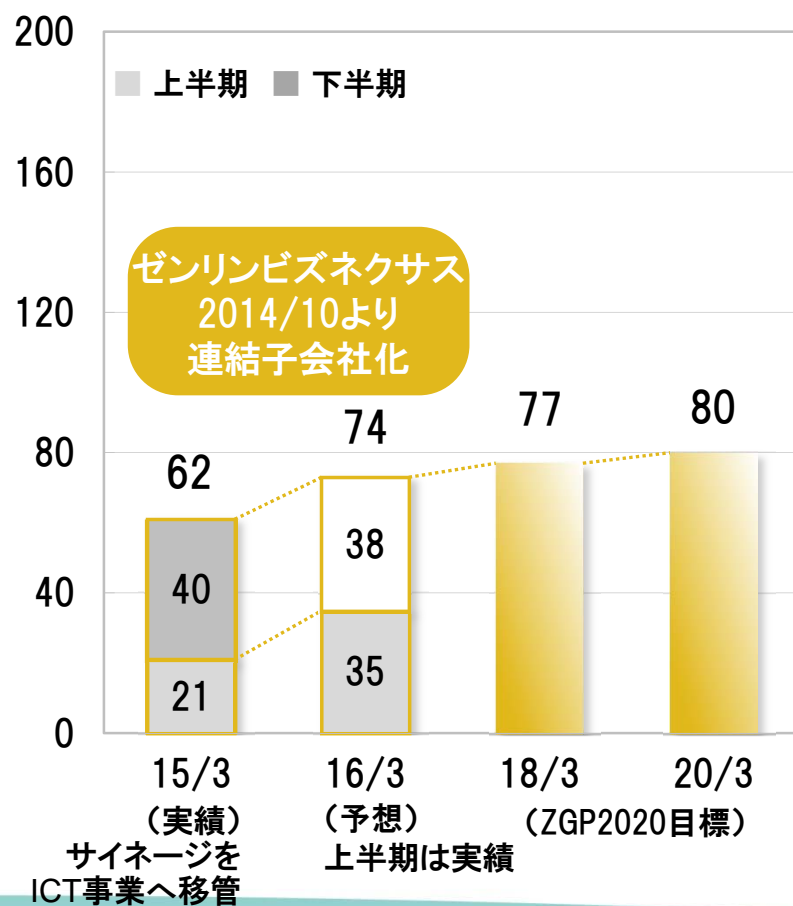
2016年3月期 売上高予想  
前期比 +12億円(+19.6%)

## グループシナジー再検証

一般印刷ビジネスの安定

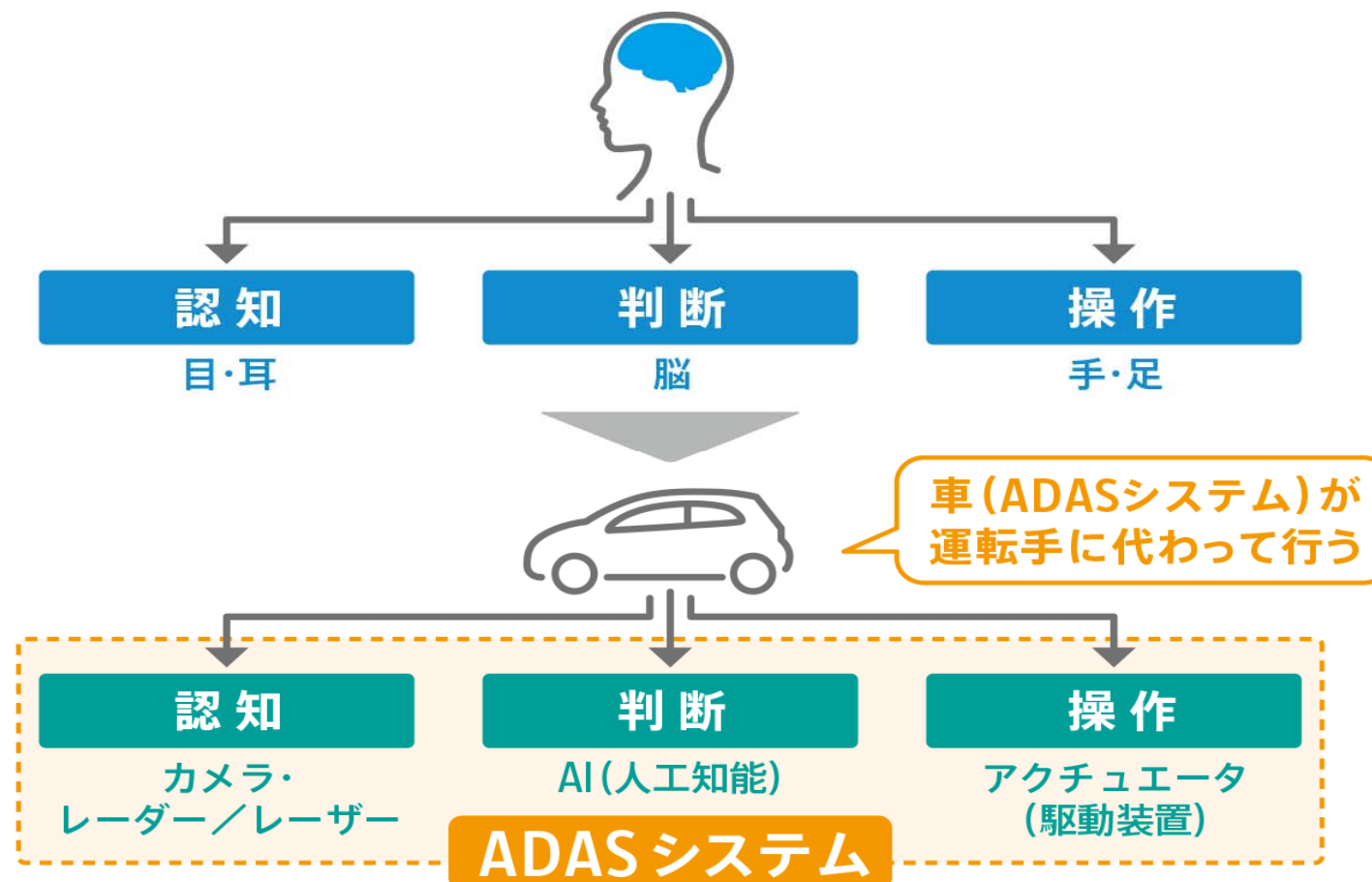
インシップ広告ビジネスの拡大

位置情報ビジネスとのシナジーによる売上拡大



## 3-2) ADASへの取り組み -ADASシステムとは-

運転行動の「認知」「判断」「操作」を、運転手に代わって、クルマが行う

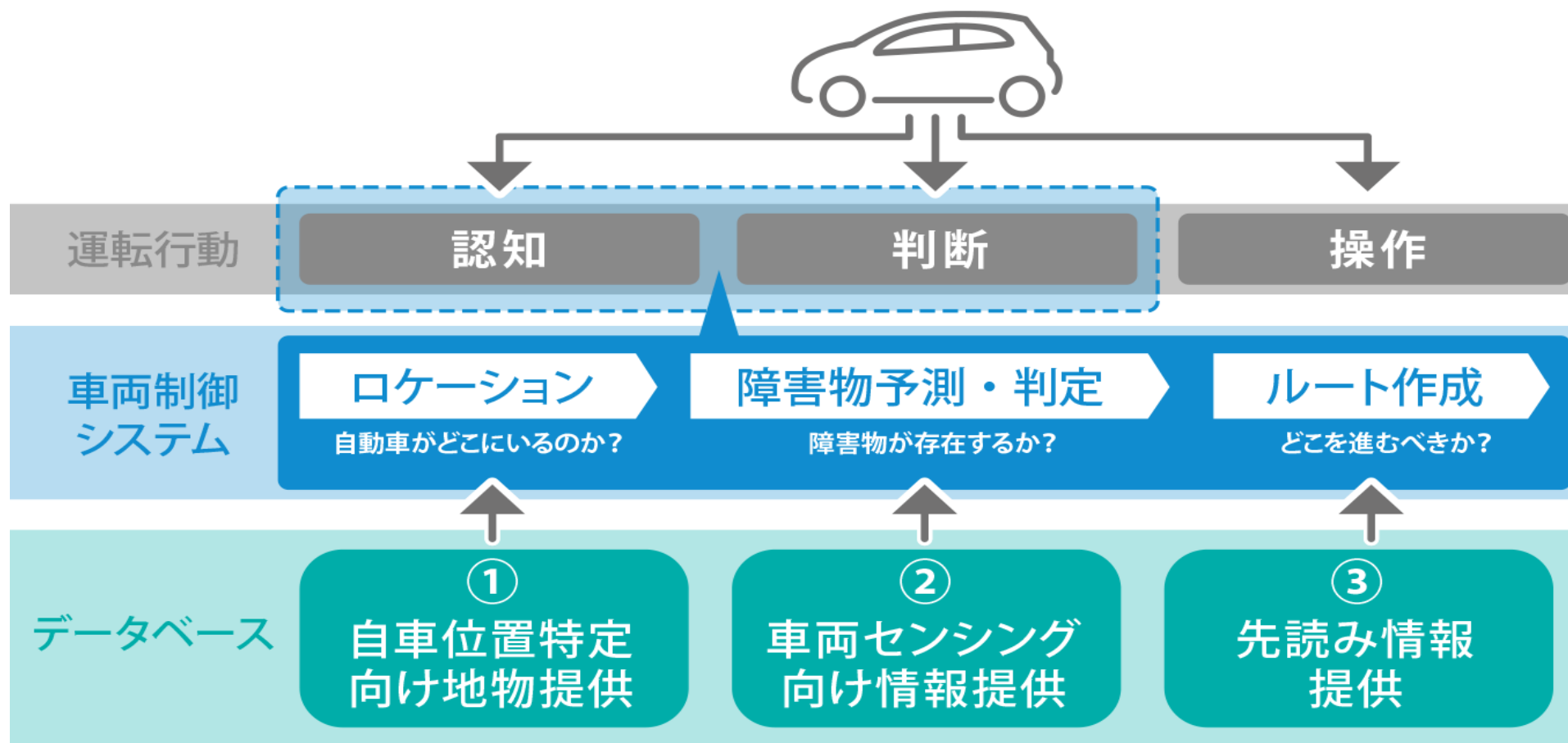


# 3-2) ADASへの取り組み —高精度空間データベースの役割— ZENRIN

Maps to the Future

2016年3月期 第2四半期決算説明会

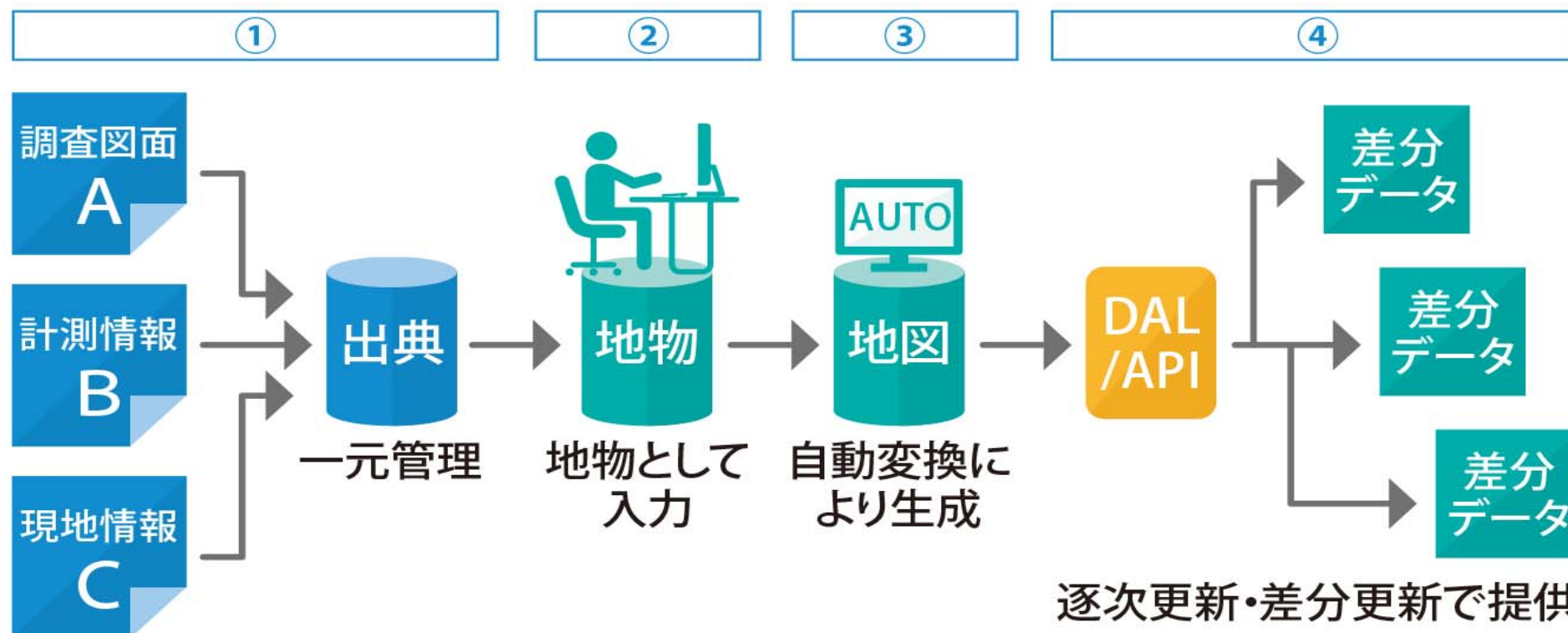
「認知」「判断」を支援 ⇒ より安全な運転へ



## 3-2) ADASへの取り組み 一時空間情報システムの特徴

一元管理された地物から必要な情報を選択しDBを生成することで、  
各要件に最適化されたDBを、逐次・差分で提供

・時空間システムによる整備工程





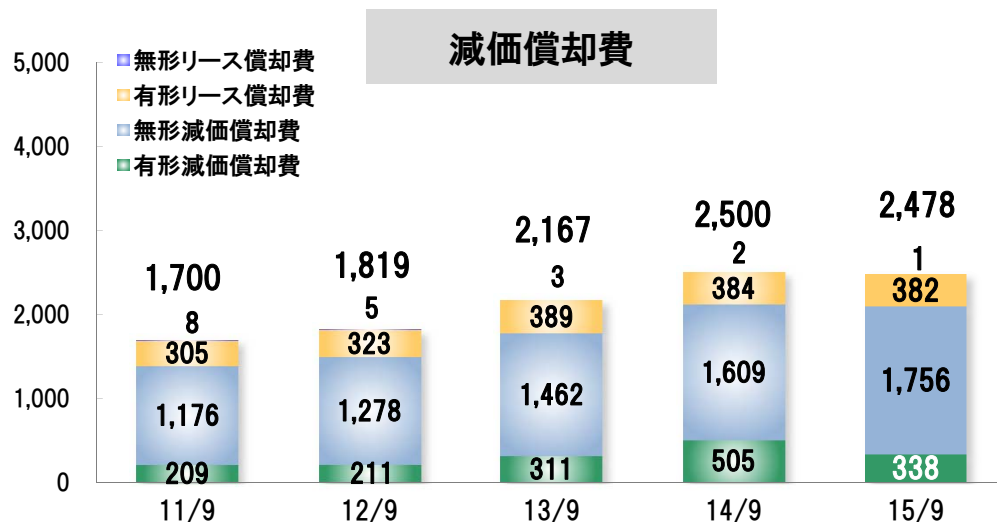
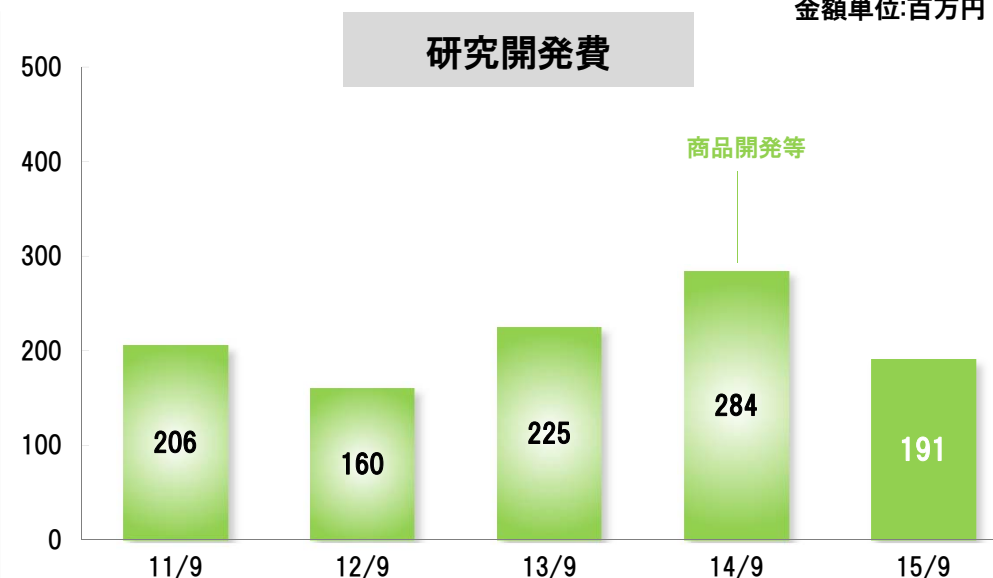
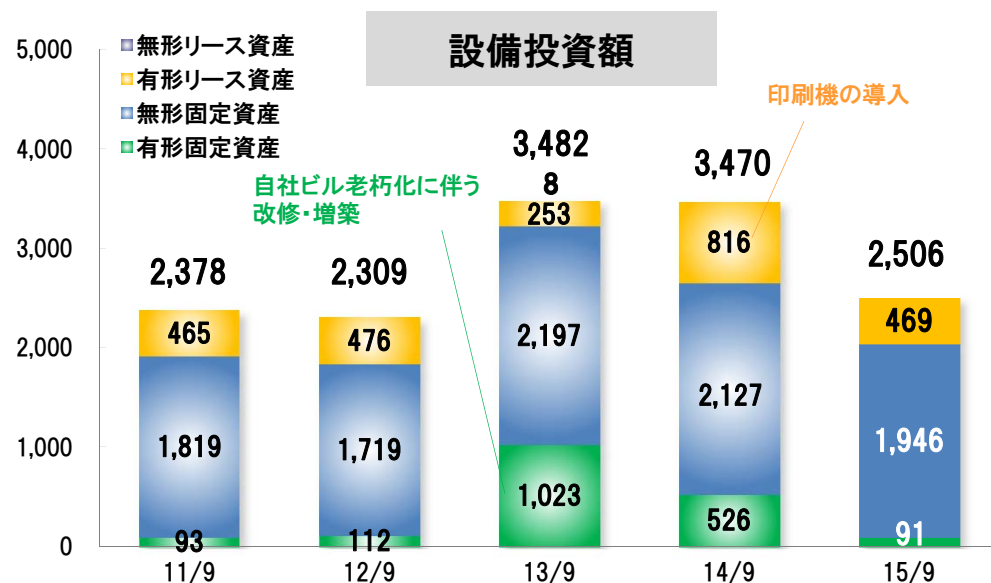
# Appendix

- ① **2016年3月期 第2四半期決算概要**
  - 設備投資額、減価償却費、研究開発費
  - 四半期売上高構成比 推移
  
- ② **2016年3月期 通期業績予想（2015年3月期 決算説明会資料より）**
  - 売上高・利益の推移
  - 営業利益増減要因（前期比）
  - セグメント情報
  - 設備投資額、減価償却費、研究開発費
  
- ③ **中長期経営計画（ZGP2020）**
  - 目標数値
  - 事業別売上高

# 第2四半期決算概要（設備投資額、減価償却費、研究開発費）

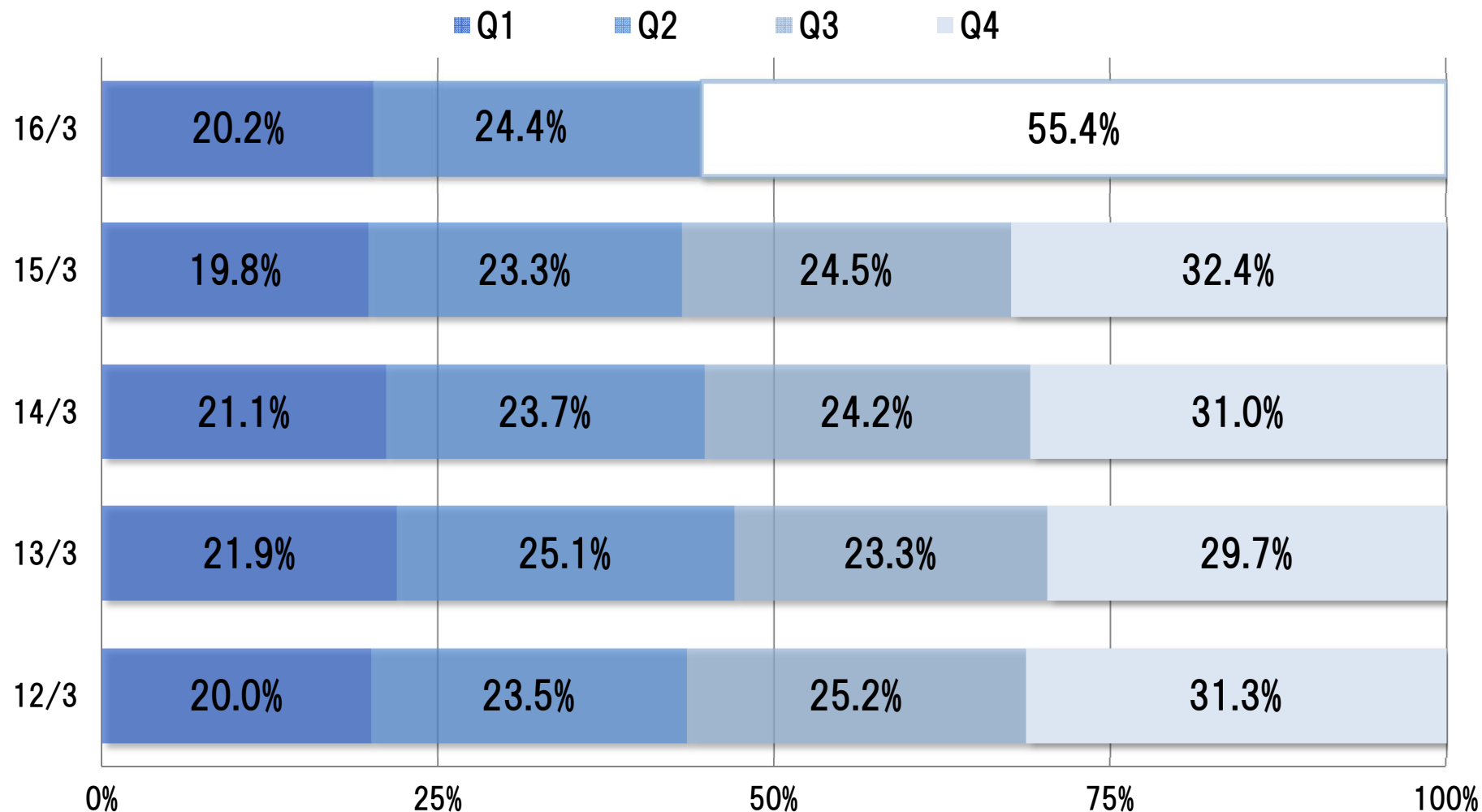
2016年3月期 第2四半期決算説明会

金額単位:百万円

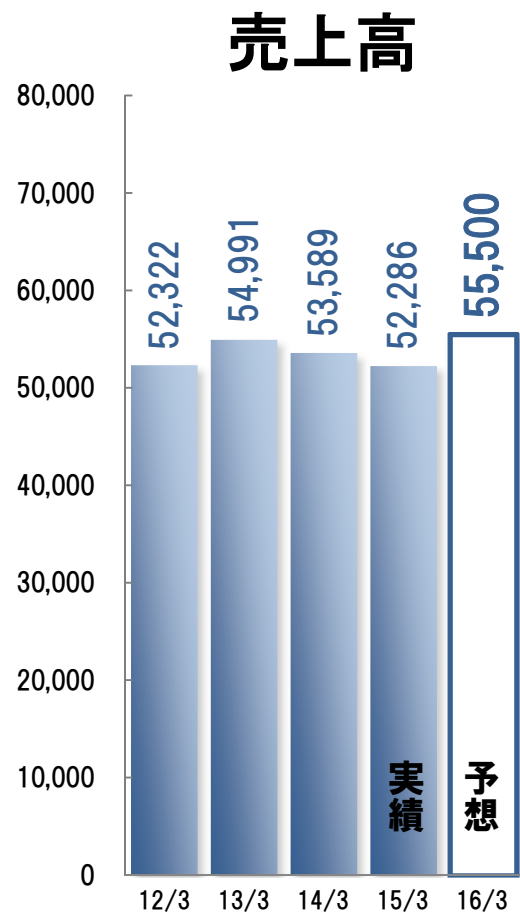


# 第2四半期決算概要（四半期売上高構成比 推移）

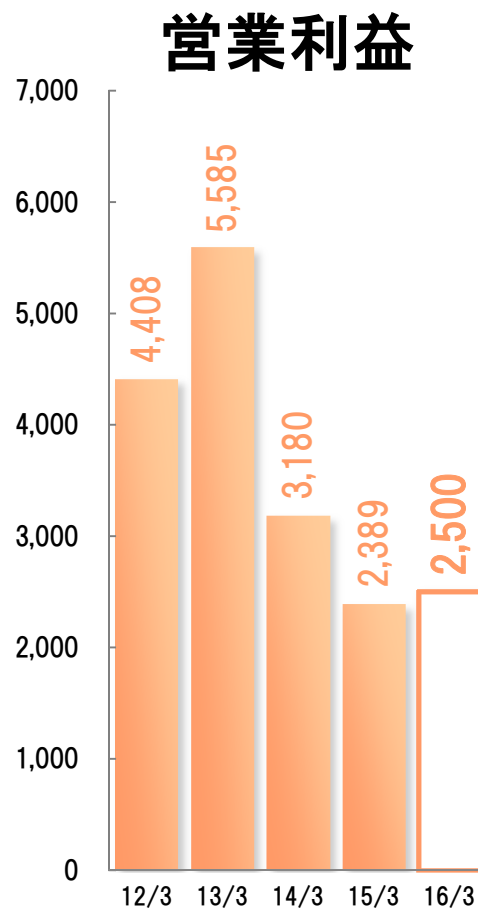
2016年3月期 第2四半期決算説明会



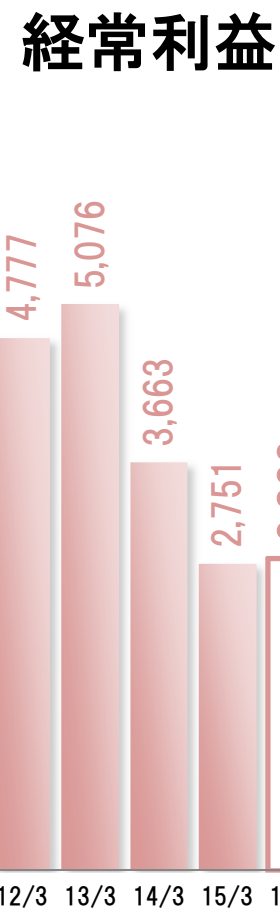
親会社株主に帰属する  
当期純利益



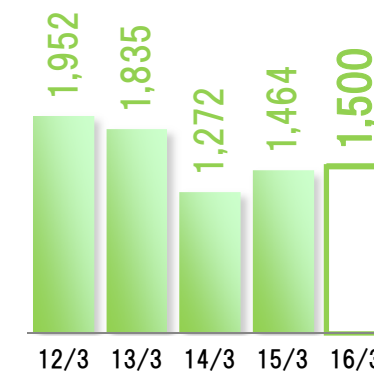
3期ぶり増収



3期ぶり増益

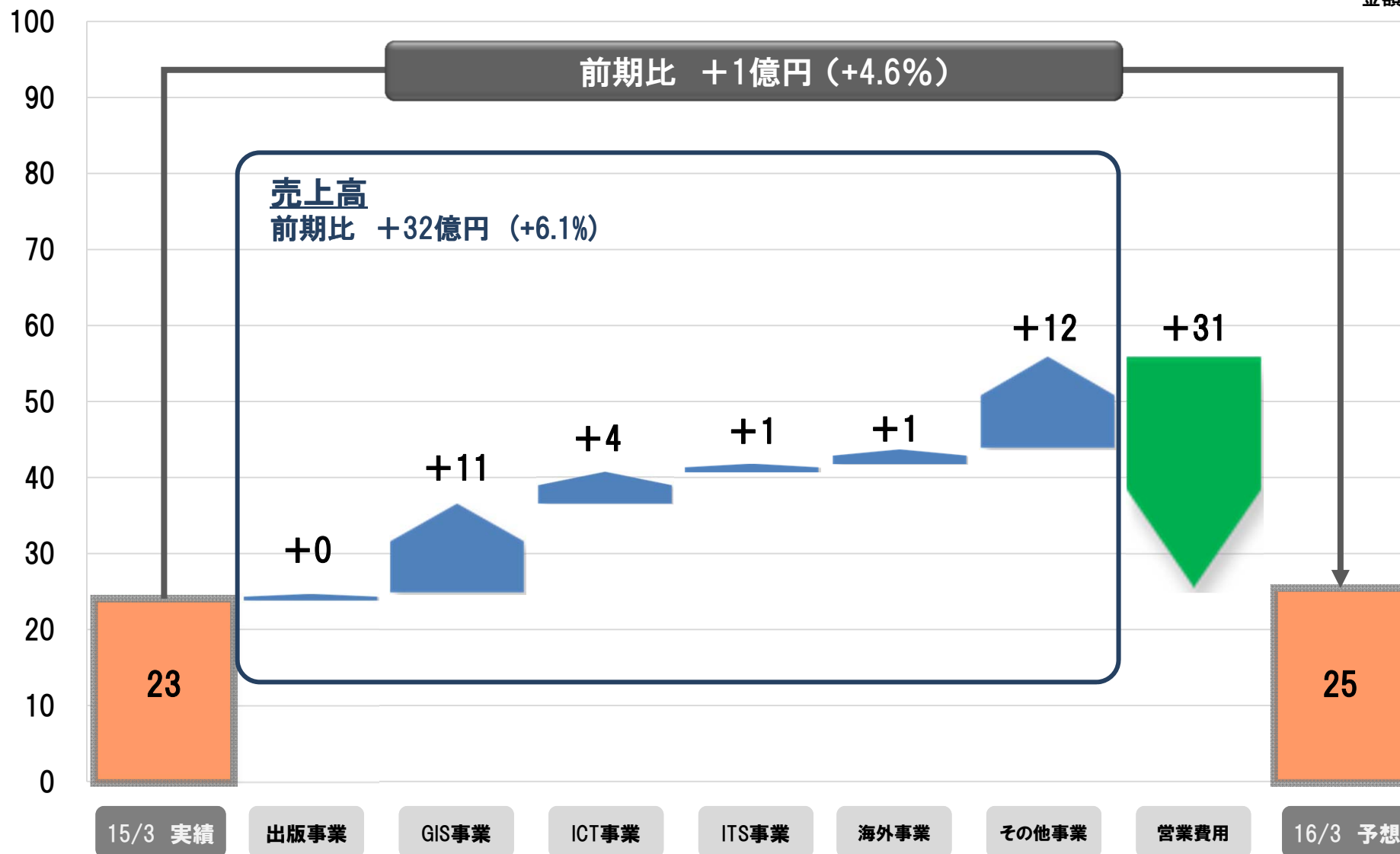


3期ぶり増益



2期連続増益

# 通期業績予想（営業利益増減要因（前期比））

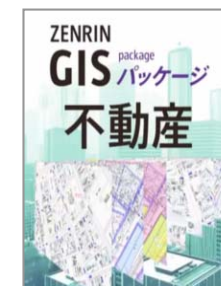


売上構成  
比 率

83.8%

## 1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース  
国内外カーナビ用地図データ  
スマートフォン向けサービス  
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



6.4%

## 2. 一般印刷関連事業

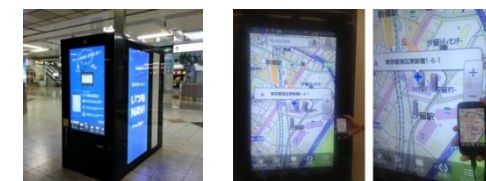
主要品目等：商業印刷



9.8%

## 3. その他

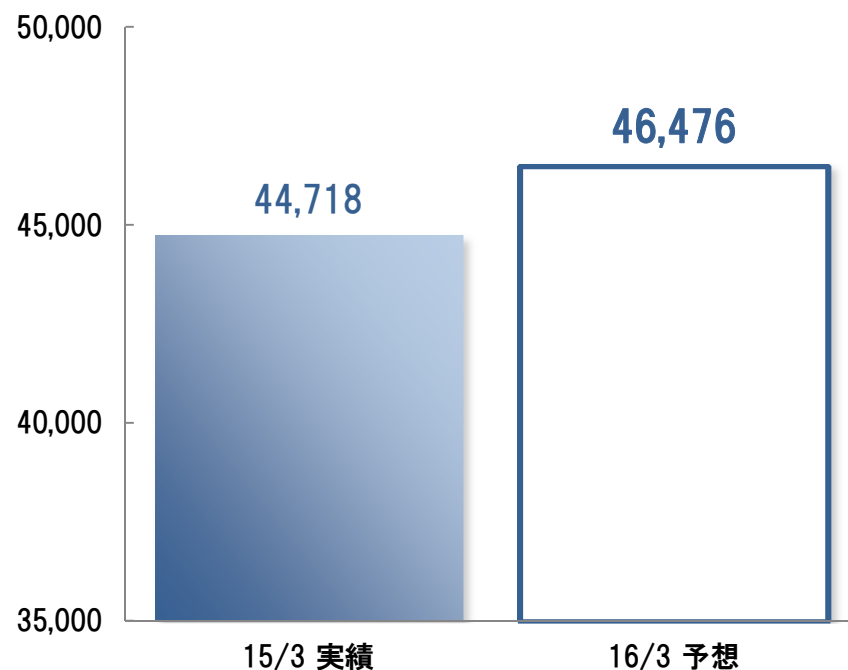
主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ  
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告



## 売上高

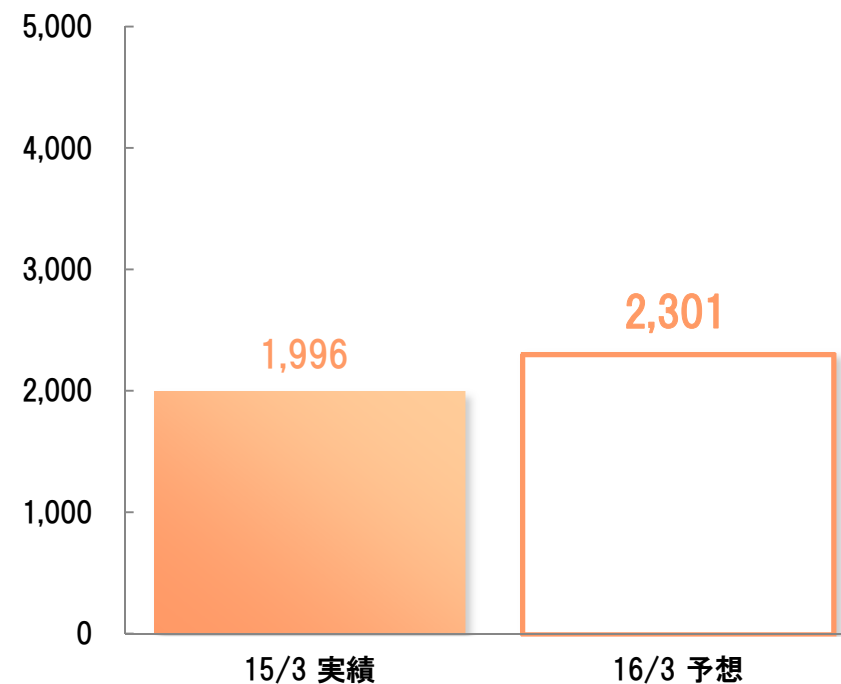
前期比

1,758増加 (3.9%)



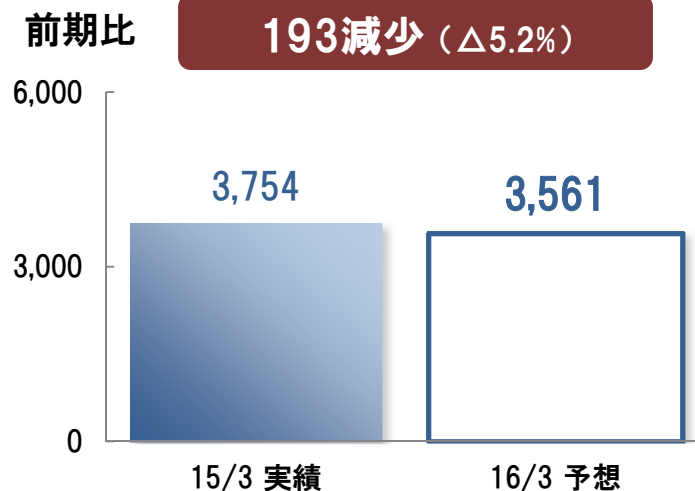
## 営業利益

304増加 (15.2%)

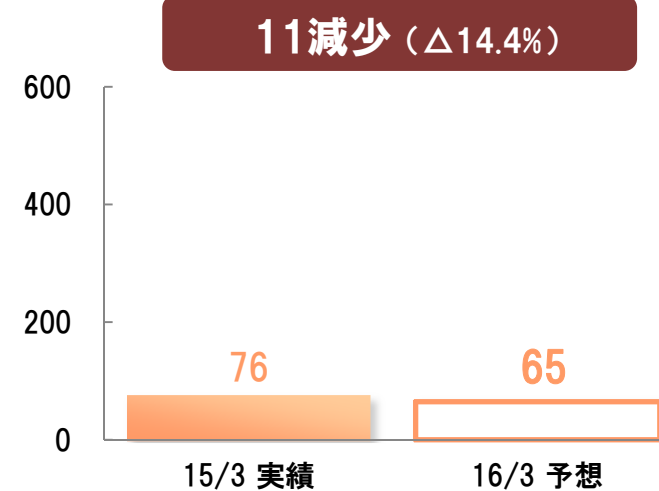


## 一般印刷関連事業

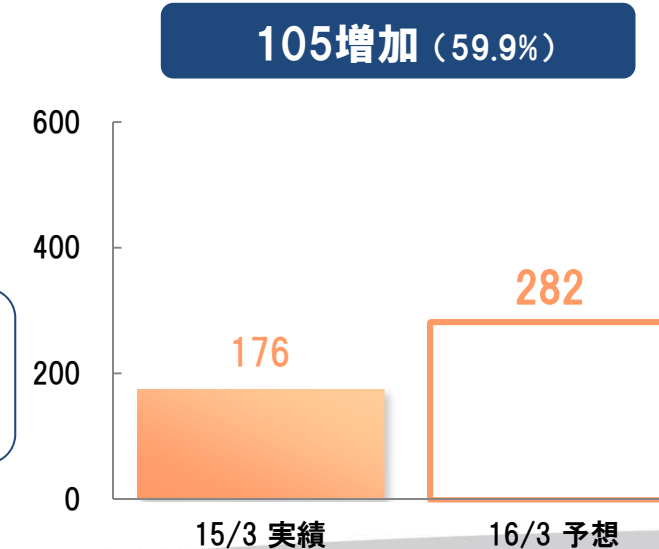
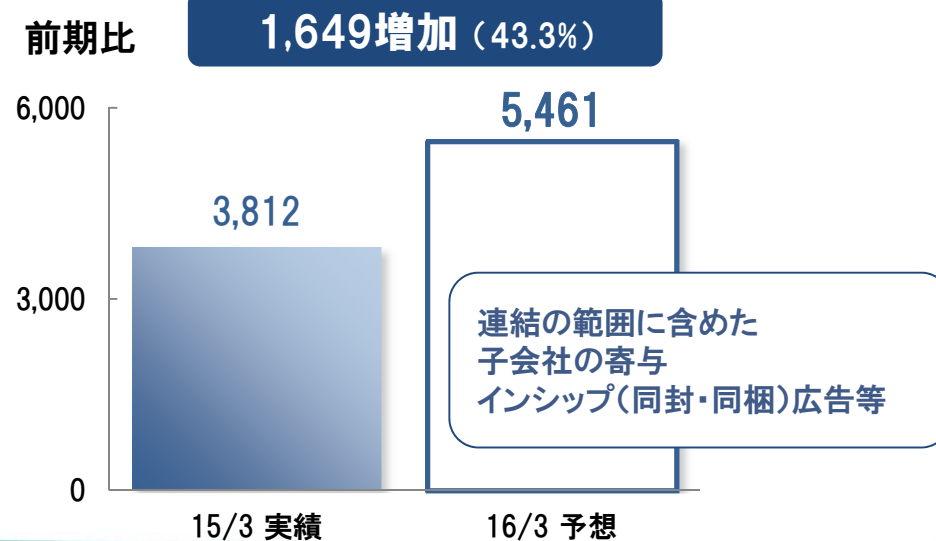
## 売上高



## 営業利益



## その他

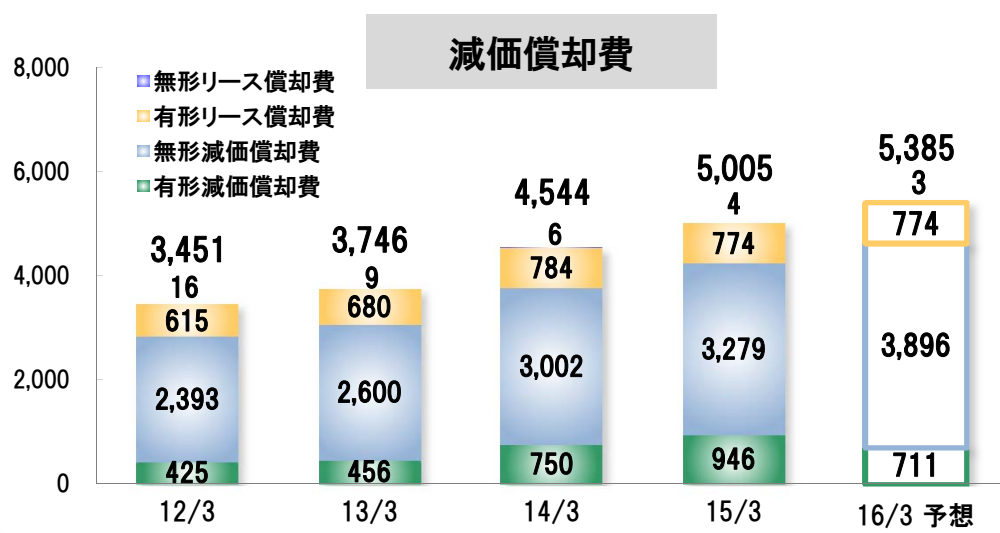
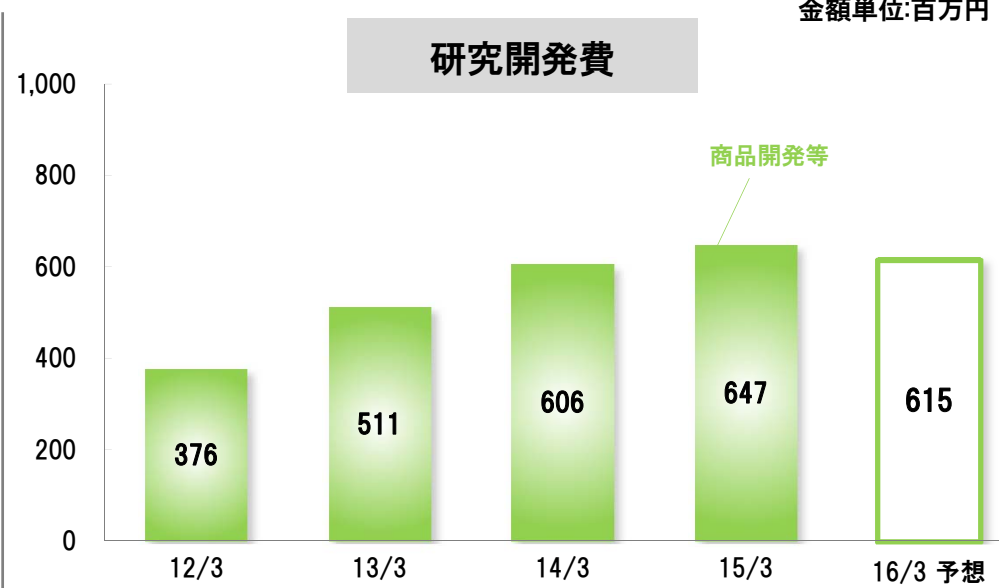
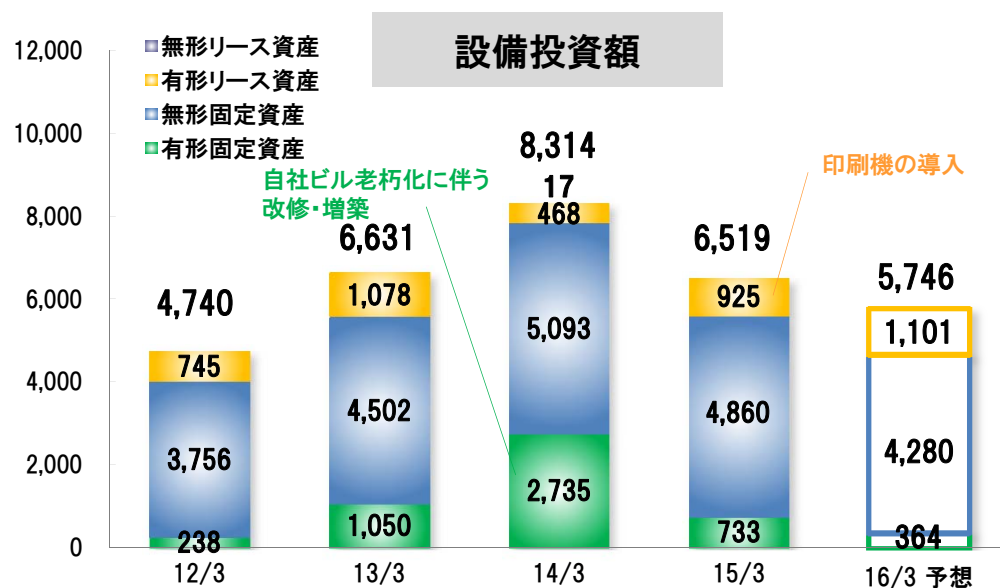




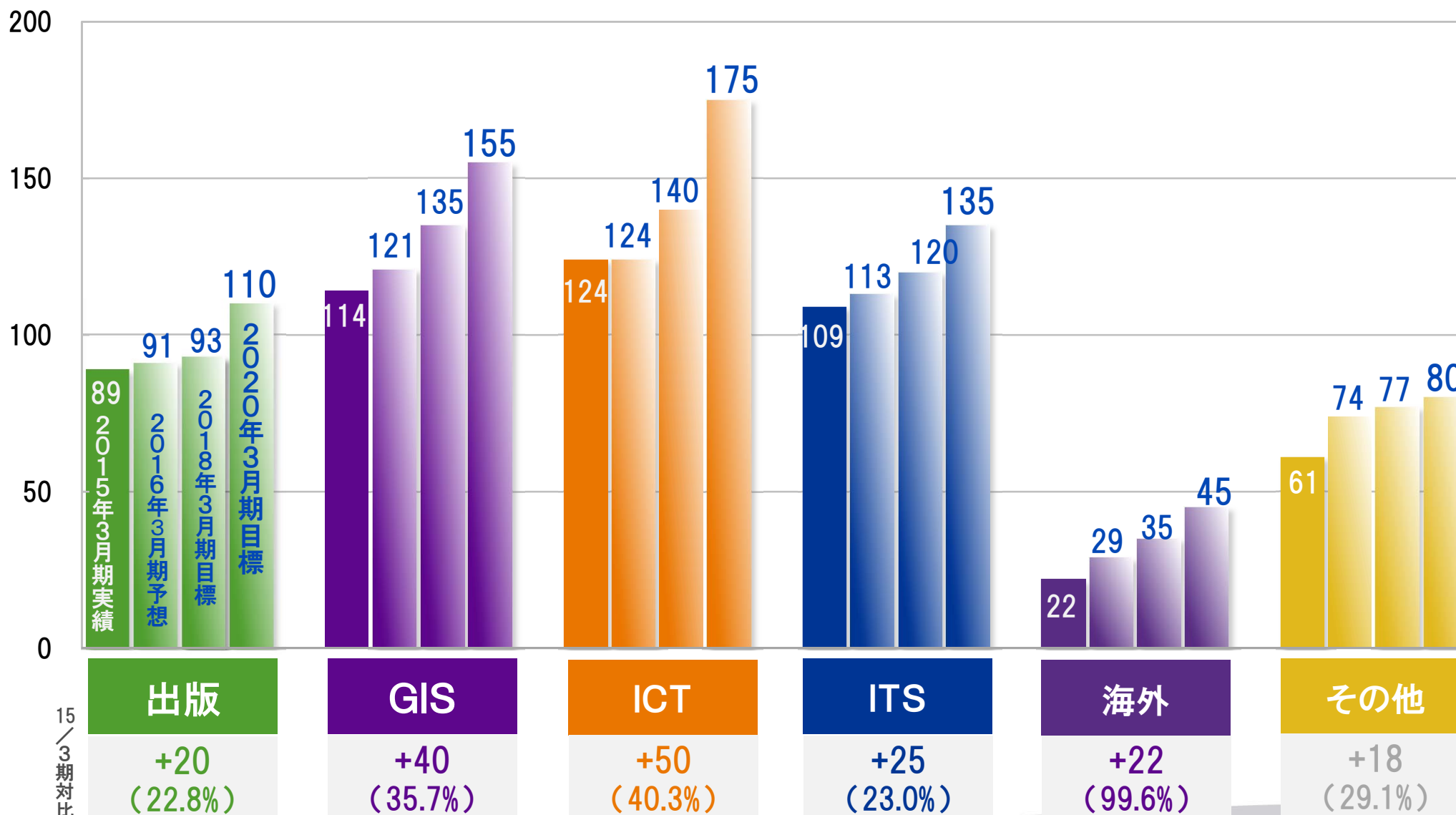
# 通期業績予想（設備投資額、減価償却費、研究開発費）

2016年3月期 第2四半期決算説明会

金額単位:百万円



	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	2018年3月期 目標	2020年3月期 目標
連結売上高	522億円	555億円	600億円	700億円
連結営業利益 (利益率)	23億円 (4.6%)	25億円 (4.5%)	50億円 (8.3%)	100億円 (14.2%)
ROE (自己資本当期純利益率)	3.9%	4%	8%	12%以上
DOE (連結株主資本配当率)	3.0%	3%以上	3%以上	3%以上



※2015年3月期はZGP2015の事業区分で集計した売上高

# ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>  
コーポレート本部 経営管理・IR部  
IR問い合わせMail : zenrin-ir@zenrin.co.jp